

スクウェア
SQUARE



しろい

迎春

北総一揆!



★12月定例議会開催★

令和元年11月25日～12月19日まで25日間の日程で12月定例議会が開催されました。継続審査となっていた平成30年度決算認定の2件を可決後、白井駅前センター、富士センター及び白井コミュニティセンターの指定管理者の指定、被災農業者支援に要する経費など7億6,786万5千円を増額する平成31年度一般会計補正予算など24議案が上程されすべて可決しました。また、「白井市文化会館大ホール天井の安全化改修に関する陳情」について審査しました。

★12月議会では2項目の一般質問をしました★

1、【スズメバチ対策について】

スズメバチの被害により毎年20人前後が犠牲となっています。これはママシやクマの犠牲者よりも多く野生では最大の危険生物といっても過言ではありません。このスズメバチの駆除に対して松戸市や鎌ケ谷市が行っているように市が責任を持って駆除すべきと考えますが、市の考え方を伺います。

Q：スズメバチの被害状況について。

A：白井市内ではアナフィラキシーショックによる救急搬送が昨年度1件、本年度2件発生しています。

Q：市民から相談があった場合の対応は。

A：市では民有地の駆除は実施していないため、駆除業者を紹介し、駆除等の相談をするよう勧めております。

Q：近隣市が行っているように市が責任を持って駆除をする。あるいは半額助成するなど何故しないのか。

A：民有地の場合は所有者等の責任において対応することが基本と考えていますので駆除等はしていません。

Q：松戸市や鎌ケ谷市ではすぐに駆除しているが、白井市ではなぜやらないのか。

A：過去に実施していましたが、行政改革実施計画策定の際検討し平成18年度から廃止しました。

Q：どのくらいの駆除経費がかかっていたのか。

A：毎年約57万円程度の支出でした。

Q：市長の掲げる「安全・安心」の中にはハチから市民を守ることは含まれていないのか。

A：所有者の責任があると思いますので、一部のハチについては考えておりません。（市長答弁）

※「市長の政治姿勢について」は裏面に掲載

（概要は2月15日新聞折込予定の『議会だより』、全文は市役所ロビー・図書館に置いてある『白井市議会会議録』をご覧ください。）

私の視点

インターネット
映像配信

白井市議会

⇒検索

⇒会議中継

⇒岩田典之

【スズメバチ対策】

白井市は平成17年度までスズメバチの巣の駆除をしていました。年間約57万円です。わずか57万円を削減することにより市民の安心・安全が脅かされています。事実、このスズメバチ被害による市民が毎年救急搬送されているのです。もちろん、地震や台風などの大規模災害対策も大事ですが、市民の声に真摯に耳を傾けるのが行政の役割だと思います。



【陳情不採択】

白井町30周年を記念して建設され、平成6年7月にオープンした白井市文化会館大ホール客席の吊り天井は、平成28年（東日本大震災後）に改正された建築基準法施行令において、耐震状況として基準に適合していない「既存不適格」であることが判明しました。そのため市は9月に開かれた行政経営戦略会議で、工事費削減・工期短縮等で有利との判断からワイヤー補強工法の採用を決めその設計を委託中となっています。

しかし、このことは市民にも議会にも知らせることなく、最も安全な準構造直張り天井新設工事を先送りしたものです。この陳情は「科学的な知見を参考とするなど慎重な手続きによる市民合意を得た方式にすること」を目的とした陳情ですが、残念ながら不採択となりました。

【岩田のりゆきプロフィール】

1954年山口県生まれ
広島音楽高等学校音楽科卒業 昭和音楽短期大学音楽科卒業
中央大学法学部通信教育課程卒業
2000年 白井町議会議員初当選 現在5期目
白井市議会副議長、議会運営委員長、産業民生常任委員長
環境経済常任委員長、決算審査特別委員長 等歴任
【現在】 NPO法人白井助け合いネット理事、清水口小学校地区区
社会福祉協議会推進委員、「白井脳いきいき教室」運営スタッフ など
・座右の銘「人生有限 価値無限」

市政に対するご意見・ご要望等ありましたらご一報下さい。



白井市議会議員 岩田のりゆき

〒270-1433 白井市けやき台2-7-1-108

TEL/FAX 047-492-1075 直通 090-9138-6183

E-mail: iwanori@apricot.ocn.ne.jp

<http://iwanori.net>

北総鉄道の借金がなくなるのは令和17年！

私の調査によると、鉄道・運輸機構への償還金は、昨年度約33億円を返済し、これまでに譲渡価格を236億円も上回る1,534億円を返済しています。しかし、当初の利息が高金利だったため、19年連続黒字を計上してもまだ500億円以上の債務が残っています。

笠井市長の述べている対話路線の継承と粘り強い協議を持って運賃値下げが実現することはありません。強い意志と働きかけを持って鉄道事業者と交渉に当たらなければ、値下げは永遠の幻に終わってしまいます。

今後真剣に値下げを考えるなら、平成25年に外部のシンクタンクに委託した「北総線運賃問題に関する調査報告書」(※1)を根拠にマスコミを動かし、政治力を発揮する交渉が鍵となります。

※1補助金なしの運賃値下げに関する試算結果

【北総鉄道の旧鉄建公団への償還状況】

	値下げのパターン	通学定期	通勤定期	普通運賃	試算結果
A	現在の値下げ率	25%	1.1%	4.9%	○
B	さらに通学定期を半額	50%	1.1%	4.9%	○
C	B+更なる値下げ	50%	6.6%	6.6%	○
D	すべてを半額に	50%	50%	50%	×

(平成25年、弁護士や公認会計士など専門家5人で構成するシンクタンクに4ヶ月間にわたり分析調査を依頼した調査報告書の試算結果)

※ 令和2年1月現在、通学定期は補助金なしの値下げを維持している

%は値下げ率

譲渡価格	1,298億円
元金	786億円
利子	749億円
償還額累計	1,534億円
平成30年度末残高	513億円

(これまでに譲渡価格を200億円以上上回る金額を返済していますが、まだ500億円以上も残っています。)

★適正な線路使用料を収受すれば大幅値下げ(D)も可能★

さらにこの報告書では、京成電鉄と北総鉄道の線路使用料は、経済的に不合理な取り決めがなされたものであり是正すべきで、京成は追加的に資本費相当分に基づく線路使用料を支払うべきとしています。

2、【市長の政治姿勢について】

市長は就任されて半年が経過しましたが、未だに何をしたいのかよく分かりません。市長の唱える「真の市民自治」とはどのような自治を目指しているのか。いわゆる市民参加とは異なる「真の市民参加」とはどのような自治なのか伺います。

Q：市民は税金を納めて専門職である行政にまちづくりを委ねている。市民参加というだけでなく真の市民自治というからには市民の意識改革が必要と思うがどのように進めていくのか。

A：市民は地域の課題を自分事として捉え、何でも行政に頼るのではなく、自分たちで何をするか、地域で話し合い、自ら実践していくことが大事であると考えています。その一つが「まちづくり協議会」です。

Q：まちづくり協議会と市長の関係は。

A：まちづくり協議会には自主性と主体性が求められます。

Q：最終的な判断は誰がするのか。

A：自分たちの活動については地域に担保すべきだと思っています。

Q：9月に開催したタウンミーティングは白井駅前センターが5人、富士センターが2人と6箇所合わせても52名。これで市民参加と言えるのか。

A：行政に対して関心のない方が多くある結果だと捉えています。

Q：市民参加というのが職員も市民、タウンミーティングになぜ参加しないのか。職員の意識改革も必要では。

A：当然必要だと思っています。

Q：市長から具体的説明・提案をして、その上で市民と意見交換をする方式に変えてはどうか。

A：これからの5年間この市がどういうものやっっていくか、広く市民の意見を聞きたいと思っています。

Q：5年後も大事だが、自分の任期中にこれだけは実現するというものは、何か一つもないのか。

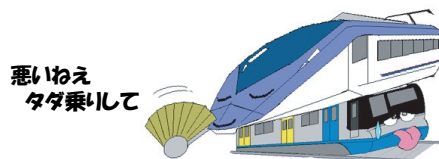
A：今まで関わってきた参加協働プランや行政指針を進めていくことが使命だと考えています。

【白井市から転出者へのアンケート】

白井市から転出したい理由

- 1、交通費が割高だから 68.6%
- 2、市の発展に期待できないから 40.1%
- 3、日常生活が不便だから 32.8%

(2019年10月 複数回答3つまで)



ハアハア
ゼエゼエ

《岩田典之後援会のご案内》

岩田のりゆきの政治活動を支援し、ご意見をいただける方のご入会を心より歓迎いたします。

入会金 なし 年会費 1口 1,000円

・年会費及びカンパは下記又は本人へお願いします。

振込先：京葉銀行白井支店 普通 5273831

口座名義 岩田典之後援会



討議資料



a society for the support of IWATA NORIYUKI